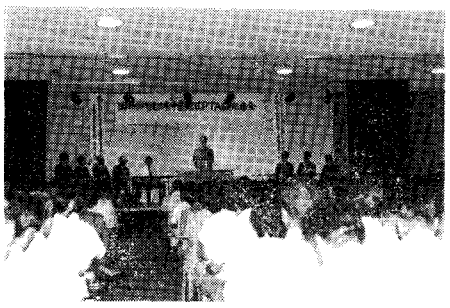
こすど公民館報
発行所　小須戸町公民館
発行人　間野良知
発行日　毎月15日
一部15円
印刷所　昭栄堂印刷所

こどもをたくましく育てよう！
三市中蒲地区ＰＴＡ研究集会行わる
～記念講演に岸井勇雄氏招く～

三市中蒲地区市町村ＰＴＡ連絡協議会では、毎年各市町村持ち回りで研究集会を開催しているが、今年度は小須戸町において開催された。
約二百五十名の参加者は、二つの分科会に分かれて最後まで熱心な研修を行った。



最近の小中学生は、ひ弱で困るという世論が有力のようです。
わたしたちはこのような批判を素直に受けとり時々、親同志が相集い、話し合って子どもをすこやかに育てようと苦心しているところです。
このような話し合いの規模を広げたものとして標記の研究会があります毎年一回開かれているのですが、本年は小須戸町が会場となり、去る七月十五日、公民館を会場に約二五〇名のＰＴＡ会員を集めて開催されました。
開会一時間も前から会員が見えられるという熱心さ。「小さい町なのに会場はりっぱだね」とほめて下さる方もあり、忙しく働いている裏方さんを慰めてくれました。
小林・町連Ｐ会長の挨拶で開会、続いて家庭教育と地域活動の二つに分かれて分科会討議午後からは、全体指導、講演会　閉会式と盛りたくさんの日程をうまくこなして午後三時すぎ、盛会裡に終了いたしました
分科会では日頃の実践を自信を以て報告するＰＴＡ、壁につき当たり悩んでいるＰＴＡとさまざまでしたが活発な意見の交換がなされて、参会者も得る処が大きかったようです。
以下県立女子短大、岸井先生の「子どもをたくましく育てる五つの方途
一、依存から自立へ。
二、抵抗力（耐性）を。
三、見通しを与える。
四、達成感や挫折感を十分与える。
五、がんばる楽しさを実感させる。
紙面の都合で、今回は一について記します。
乳児は何から何まで親の世話になっているが、依存からの出発が以後の教育に重大な意味をもってくる。父母は味方だという安心感＝依存が人間形成の基盤となる。
満一歳ごろから立ち上るようになり、周りの生き物をモデルにして生活様式を覚えていく。次第に自分でやるようになるが、この時期が自主性を育てる好機、下手でもよいから子どもにやらせる始めから上手な人はいないのだから、手を出し過しすぎる親、過保護に育てる親は子どもをダメにしてしまう残酷な親といわなければならない。
（矢代田小　藤由）

大きな輪をつくろう!!
大民謡踊大会を開催
主催＝青年団体連絡協議会

老いも若きもふるってご参加下さい。
気軽で、楽しい民謡踊大会にしたいと思います
小さな子供さんも大歓迎です。
日時＝八月十八日（土）午後七時より
※雨天の場合は十九日（日）
会場＝中央公民館前広場

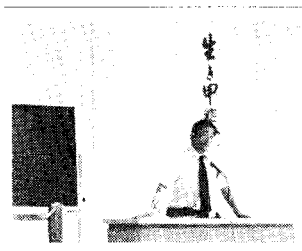
故郷

おやまつしろう

拭くあとからにじみ出る汗を
濃い碧空の入道雲に
サングラスが写し出す時
だれもが故郷を想い出す
海も山もうずまく人の群れ
けれど、だけど、やっぱり、でも
切符を片手に汽車に乗ってしまった
帰ることのわずらしさを忘れ
私の心を誰かがゆさぶって
自然、大地、緑の森、河の流れ
生まれた家のにおい、そうだろうか
何時までたっても子供なんだ
私は…私は…なんで……
ふと　母の乳房……

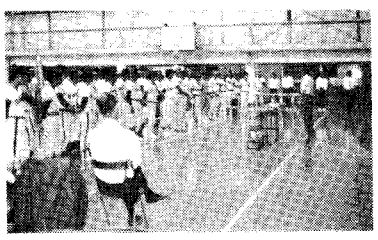
〝生きがい〟で文化講演会
コロニー白岩の里　花積正夫氏

第二回目の文化講演会が、老連・身障者協議会連絡協議会・婦人会・公民館の共催で去る七月二十四日、中央公民館において行われた。
参加人員約二百名は一時半余りの熱弁に、感涙と爆笑の中に引き込まれて息を呑む暇もなかったほどであった。
氏は家族の中にある老人の立場として、あたたかいおばあちゃん、明るいおじいちゃんから説きおこし、数々の例証をあげて生活直結の話をされその中には肩をときほぐしてのユーモアと涙を誘う胸にせまる感激を聴衆に与えた。
コロニー内の生徒が雨の日に植物に傘をさしての水くれなど、人は智恵遅れというが、そこに本当の人間の姿があり、神のような心を持つ、他の人に疑いを持たない生徒と、教育を受け普通人としての中にも不純な心を持つ人達の比較など、笑ってはいるが聴く人の胸にぐっとせまる話など、ちょうど過去のチャップリン映画を思わせる笑いとペーソスの連続で、最後に物の見方と人間の生きがい（哀愁、悲哀感）としての社会的な老人の道徳感で話を結ばれ、多大の感銘を与えつつ降壇された。
大成功であった。



第六回町長旗争奪
ナイター大会終了す！
～今大会は二十三チームで熱戦～

四月二十六日に開会された同大会が、去る七月十一日、町民体育館（雨天の為）において閉会され、約三カ月にわたる熱戦に終止符をうちました
今リーグの内容は、二十三チーム参加の三ブロックで、合計七十七試合が消化されました。
Ｂブロックでは、一位二位は順当に勝ち進みましたが、三位に商友、赤陽、キャンデーズ、ニット吉川の四チームが共に三勝三敗一引き分けで、得点、失点計算で商友が三位に決定するなど、全ブロックにおいて好試合が展開されました。
これらの成績内容で、来年度リーグの各ブロック間におけるチーム編成がかわる訳ですが、来年度も大いにがんばってもらいたいものです。



成績は次のとおりです
◎Ａブロック
優勝　勤協サニー
準優勝　四葉クラブ
第三位　役場
◎Ｂブロック
優勝　パワーズ
準優勝　水田クラブ
第三位　商友クラブ
◎Ｃブロック
優勝　モンスターズ
準優勝　新栄クラブ
第三位　友交クラブ

晴れの表彰!!
防犯功労で　大貫泰弘氏

去る六月十六日、新潟県防犯協会の定期総会において、会長（君知事）から県下における優良防犯団体、防犯功労者等が表彰されました。
小須戸町関係では、新保の大貫泰弘氏が防犯功労者として晴れの表彰を受けられました。

近郷庭球大会のご案内
小須戸町庭球協会

左記要項により、軟式庭球大会を行います。
初心者の方々も、お気軽にご参加下さい。
なお、当日の受付はいたしませんので、よろしくお願いします。
（記）
日時＝九月二日（日）
午前九時より受付
九時三十分開会式
※雨天の場合は九日。
種目個人戦のみ
男子Ａクラス（一般・中学生高学年）
男子Ｂクラス（初心者・中学生低学年）
女子Ａクラス（一般・中学生高学年）
女子Ｂクラス（初心者・中学生低学年）
会場＝小須戸町運動公園内テニスコート
申込＝八月二十日までに中央公民館事務局へ（電話二二三四番）
参加料＝一般一チーム二〇〇円
主催＝教育委員会
　　庭球協会
後援＝体育協会

ナイター利用の抽選会を行います

次の要項により９月～10月分のナイター利用チームは必ずご参集下さい。
日時＝８月30日（木）午前９時より
会場＝中央公民館２階会議室
※都合の悪い場合は代理をお願いします

伝統!!　小須戸まつり喧嘩燈籠
天まで響け！　ホラ貝の音

・８月24日午後１時 ―― 燈籠各組町内押し
　〃　７時 ―― 民謡踊り町内流し
・８月25日午前10時30分 ―― 小須戸小学校鼓笛隊行進
　午後１時 ―― 御神輿発御・燈籠押し
　〃　６時 ―― 燈籠押し合い開始
・８月26日午後３時 ―― 御神輿還御・燈籠でお迎え

公民館周辺の除草奉仕
天理教分教会の皆さん

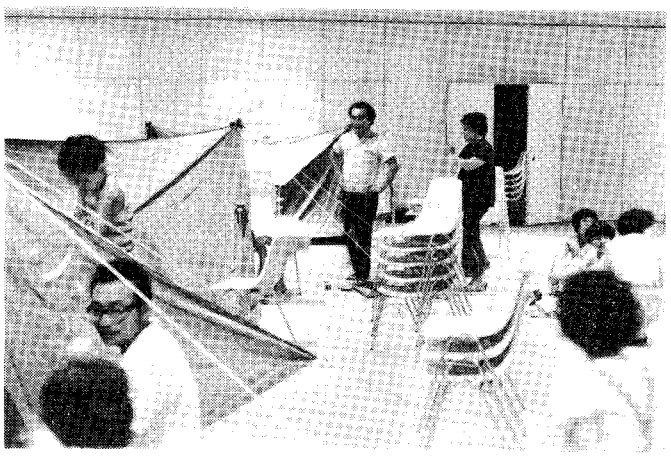
去る七月二十二日早朝数十人の方々が集まって公民館のまわりの草とり作業が行われました。
これは町内天理教三分教会（小須戸、うでこき矢代田）の皆さんで、会長斎藤止二さんが卒先しての奉仕でありました。
おかげでお盆をひかえての公民館、役場、旧武道館等の周辺が見違えるほどきれいになりました
これまでにも同分教会では保育所や神社その他の施設に度々こうした奉仕を実施されて来たのでありますが、厚い信仰の真心による作業だけに本当に尊いものと思います
深く敬意と謝意を表し上げます。
（中央公民館長）

暑中お見舞い申し上げます

・東京　小須戸会
・新潟　小須戸会
・小須戸町教育委員会
・小須戸町中央公民館

夏休みの子供たちにプレゼント!!

親子キャンプで公民館合宿
中学生対象におやつ講習会行う
～少年野球大会は八月十九日に開催～



◎親子キャンプ大会

夏休み中の子供たちを対象にした行事の第一弾として、去る八月四日から五日にかけて、親と子二十余名が楽しいキャンプをしました。

残念ながら四日は雨空で目的の護摩堂山へは行けず、中央公民館で行いました。

お父さんやお母さんと参加した子供たちは楽しみにしていた屋外でのキャンプができず、ちょっぴりがっかりしていましたが、ゲームをやったりマンガ映画をみたりして結構満足のようでした。

班別に分け、飯ごうすいさんをやり、みんなで家から持ち寄った野菜やおかずでおいしい夕飯づくり――もちろん子供たちもお手伝いで大奮斗！

また、子供たちが寝たのはなんとテントの中！

実は主催者側も親の方も寝るのは中央公民館の和室を予定していたところ子供たちの方から「ぜひテントの中で」との声が出て、ついに三階の人ホールにテント村が出現したという訳です。

お父さん、お母さんは和室のタタミの上でご就寝でした。

また、朝のラジオ体操青年学級のお兄さんが歌の指導をしてくれるなど和気あいあいと一泊二日の親子キャンプを楽しんでいました。

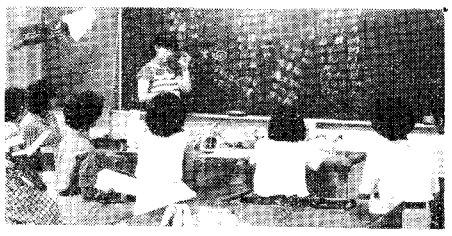
夏休みの楽しい一日として日記に記録されることでしょう。

◎おやつ作り講習会

一方、こちらは中学生を対象にしたおやつ作りの講習会が、去る八月五日、中央公民館において行われました。

男子生徒の参加はなく全員女子生徒で、人数も十名とやや少ない参加でしたが、全員まじめに講師の山田直子さんの指導よろしく無事（?）においしいおやつが完成。

今回の講習会のメニューは、杏仁豆腐、ヨーグルト・ゼリー、マドレーヌという豪華な内容でしたが、大寄せの茶会での作法が中心となり、約二十名の参加者が各となり亭主となって楽しい茶会の一日を過ごしました。



◎少年野球大会

小学生対象の野球大会が、教育委員会の主催で左記により行われます。

応援があると、やっている方も張り合いがあるものです。

ぜひ多数ご観覧下さい。

日時＝八月十九日（日）
午前九時開会式
（雨天順延）

会場＝中学校グランド

国際児童年
母と子の会話

国際児童年1979

ほめる
口先だけでは逆効果

「叱るより、ほめよ」とよくいいますが、確かにその通りで、ほめられると子供はうれしいものです。ここに、しつけの大切なポイントがあります。

しかし、ほめ上手な母親になることは、なかなかむずかしいようです。

母と子のコミュニケーションを考える上で上手なほめ方とは、どんなほめ方をいうのでしょうか。

まず大事なことは、子供がよいことをしたり、なにかを成しとげたりしたときは、その時その場でほめてやることです。

時間がたってからではせっかくのほめ言葉も効果は半減します。

子供は、自分の行動なり言動の正しさを認められたことに喜びを感じ、さらにやる気を出すようになるでしょう。

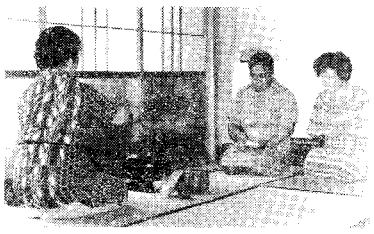
といって、ほめすぎるのも感心しません。

「えらいわね、さすがママの子ね」などと、ロぐせのようにいっているお母さんがいますが子供になにかをさせる気持ちを感じとっています。

子供は、いつも親から愛されたい、認められたいと、無意識のうちにもそう願っています。

子供ならだれしも、よい子になりたいと思っているのです。親と子の心が通い合うほめ方――ほめ言葉は親と子の大切な〝会話〟の一つです。

茶の湯教室終了者が
楽しい茶会を開催す
――茶の湯研修会・盛会裡に――



七月二十二日、老人福祉センターにおいて茶の湯研修会が行われ、盛会のうちに終りました。

今回の研修会は、茶の湯研究会の事業として行われ、大寄せの茶会での作法が中心となり、約二十名の参加者が各となり亭主となって楽しい茶会の一日を過ごしました。

茶の湯研究会は、茶の湯教室終了者が集まって茶の湯についてもっといろいろな事を学ぼうと発足し、事業として茶室や庭、釜元などの見学、映画講演会などを計画、茶の湯に興味のある方はぜひどうぞ。歓迎します。

小須戸町が
育成実験地区に指定さる
――期間は五十六年度までの三カ年間――

日本体育協会スポーツ少年団本部では、全国四十七地区（各県一地区）を育成実験地区に指定しました。

その中で、小須戸町が日頃のスポーツ少年団活動の実績と、今後の発展が期待されるとして、新潟県を代表して指定されました。

指定期間は、五十四年度から五十六年度までの三カ年です。

この間、日本本部の補助や、指導をうけながら団活動のプログラム、指導者養成、母集団の育成団員の拡充、環境の整備など、県内のスポーツ少年団活動のモデルとして期待されています。

なお、県内では、五十三年度に北蒲原郡中条町が指定されており、小須戸町は二番目に指定されたことになります。

関係者も一所けんめいですが、町民各位もぜひご声援、ご協力下さいますよう、お願い致します。

クラシック
コンサート

納涼の夕べとして第三回のクラシックコンサートを中央公民館で行いましたが、回を重ねる毎に聴衆数が多くなり、当町の音楽を聞く方々の層の厚さに感激しております。

ささやかに出発したコンサートが三カ月もたちますとこんなにも成長するものかと驚きとともに青春の熱い血がたぎるような胸さわぎが致します。

老若男女を問わず一度お出かけ下さい。

そこには人の心をいやす美しいリズム、テンポとメロディがあります。

八月は何かとお忙しいでしょうが、ぜひ一人でも多くお出かけ下さい。

〈記〉

日時＝八月十七日（金）
午後七時三十分より

会場＝公民館視聴覚室

曲目＝ドップラー田園幻想曲、チャイコフスキーヴァイオリン協奏曲、ベートーヴェン第三交響曲英雄、ボロディンイゴーリ公ダッタン人の踊り

主催＝中央公民館
（担当　親松四郎）

【青年通信】

青連協が民謡踊大会を計画
小須戸甚句等の練習会も開催中
～つくしんぼが文化祭で人形劇～

◎無線クラブ

・間もなく十月に行われる国家試験に対する、初心者向けの「講習会」が行われるが、今回の申込者数は今までの最高の約二十名位とか。

主催者側もさすがにビックリ。

果たして、無事合格するのは何人？

木伏会長いわく「まじめに受講すれば絶対大丈夫」と申しておりますソ・恒例のキャンプを、去る七月二十八～九日に行った。

二十八日に例の大雨の日、角田浜の浜茶屋を借りきって懇親会でがんばっていたとの事。

◎つくしんぼ

・先般行われた人形劇第二弾も大成功に終り、今のところ中休み状態。

それでも毎週水曜日にみんなで集まって、次の活動を検討中。

なお、アンコールに応えて十一月の文化祭に再び人形劇「ブレーメンの音楽隊」を良い子たちにプレゼントする予定。

・当サークルも、恒例のキャンプを七月二十八～九日、角田浜で行い、雨の中で大ハッスル！

◎青連協

・来る八月十八日（土）中央公民館前の広場で、盆踊り大会を計画。

青連協参加団体はもちろん、他の青年会、グループ・サークル等にも呼びかけをしていく予定。

雨天の場合は、翌十九日に行うとのこと。

一般の方々の参加も大歓迎です。

・八月十五日に行われる成人式を利用して、各団体のPRをしたいと話が出て、目下検討中。

一人でも多くの若者が入会してくれれば……

こどもクイズ

さあ！考えて？

つぎの問題の□の中に答えを書いて公民館へ。答え・住所・氏名・学年クラスをはっきり書いてハガキで送って下さい。正解者の中から五名の方に賞品をお贈りします。

一問　九月十五日は□□の日です。

二問　甲子園球場は□□県にあります。

三問　長岡市は中越、小須戸町は□越です。

前号の正解は

一問　一　二問　タヌキ

三問　ゴマ

抽選の結果、次の方々へ賞品をお贈りしました。

矢代田　東樹　康文二年
新町四　吉田　雅行三年
新栄町二田沢　祐子五年

（学年・クラスを忘れないで書いて下さい。）

第五回クラシックギター
定期演奏会のご案内
～ギターと琴のタベ～

小須戸ギタークラブはクラブ結成五周年を記念し、次のとおり定期演奏会を開催いたします。

多数ご来場下さいますようご案内申し上げます。

日時＝九月二十三日（日）午後六時三十分より
会場＝中央公民館三階大ホール
曲目＝・バイオリン協奏曲、ロシア民謡リレー（ギター曲）
・夕べのロンド、六段、その他（琴曲）
主催＝小須戸ギタークラブ

初秋の巻機山へ!!
町民登山のおさそい

すばらしい景観、そこに咲き競う高山植物の宝庫、巻機山へご案内します。

多数ご参加下さい。

主催＝教育委員会・山岳協会
期日＝九月十五日～十六日（一泊二日）
対象＝十八才以上の健康な男女
参加費＝五、〇〇〇円（宿泊料他）交通費をのぞく
申込み＝参加費を添え九月八日迄に教育委員会へ
その他＝二十五名で〆切。詳細は後日の説明会で

八月句会報

小須戸町俳句同好会

初蝉や北山様の祭来る　虚秋
用談を終えてビールの卓となり　良遊
くちなしの明日咲く匂い包みけり　香月
螢火や濡れても熱き男の掌　秀穂
分ち合ふ相手のなくて日の永し　松山
山茶屋の奥まで透けし心太　冨沙子
糸とんぼ岩荷で埋まる土蔵あと　蒼窩
移転せし空工場に熟れし枇杷　栄松
花終えて施肥する夕べ遠雷す　四山
紫陽花の花の終りに灼熱日　のびる
びしょ濡れの犬は小さし梅雨豪雨　紀男
チマキ巻く母娘の姿や寺お講　美代
夏衣や気丈な母の肩まろし　久子
園児らの七夕軒を飾りけり　敏子
日焼けの背見せて飯場の昼休み　芳人
ダムの風新緑の湖渡りけり　静花
女闘士出て演壇に風涼し（米価闘争）　太浪
夕の雨あがる町裏花石榴　林哉
送電線末の消えたる青田波　嵐北
子の夢の素直や今年竹伸びし　越楼
灯を消せば白鬼蠶めく梅雨の闇　樫男
梅雨深く葡萄木根の出放題　石秋
セールスに昼寝の刻を失ないぬ　可津朋

宵祭り

我妻清作

故里の祭りに帰り来し友か踊る輪に居り目礼交す